



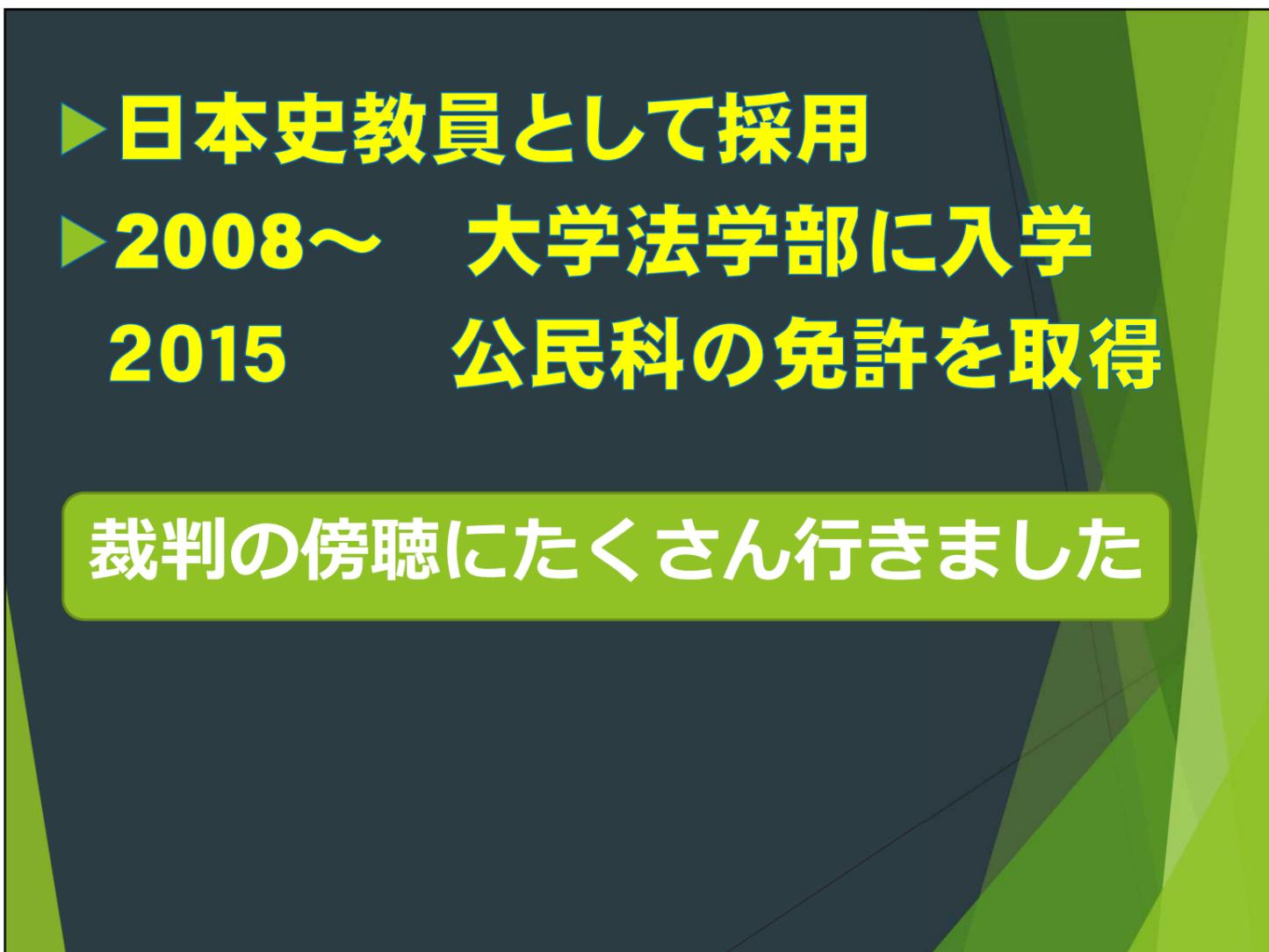
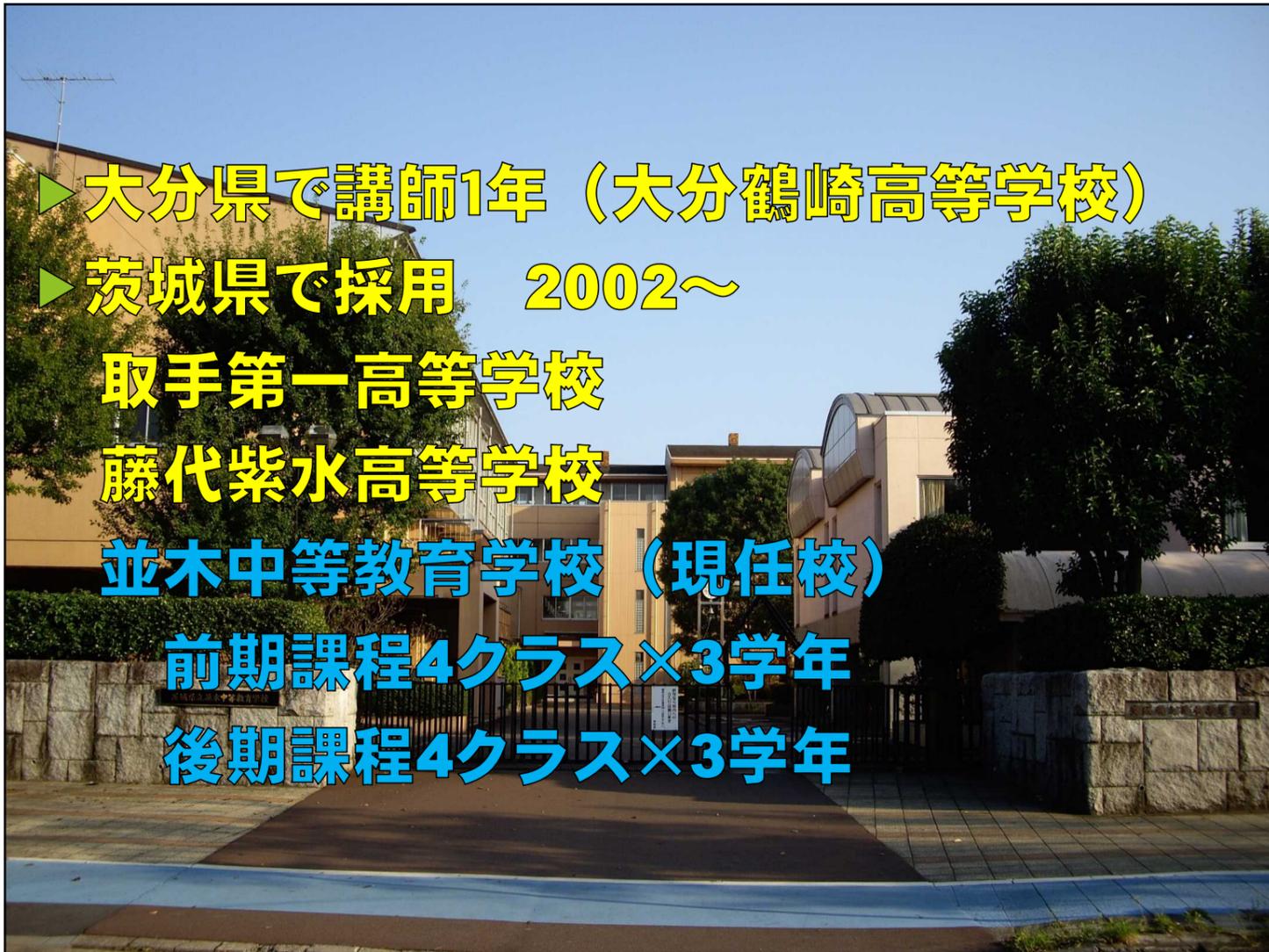
もぎさいに
チャレンジ!

茨城県立並木中等教育学校
教諭 石本由布子



公民科の教員としてのこれまで

- ▶ **最初の勤務校 1997～2001**
- ▶ **アメリカ テネシー州の
在外教育施設**



茨城県つくば市

JAXAつくば研究所

産業技術総合研究所

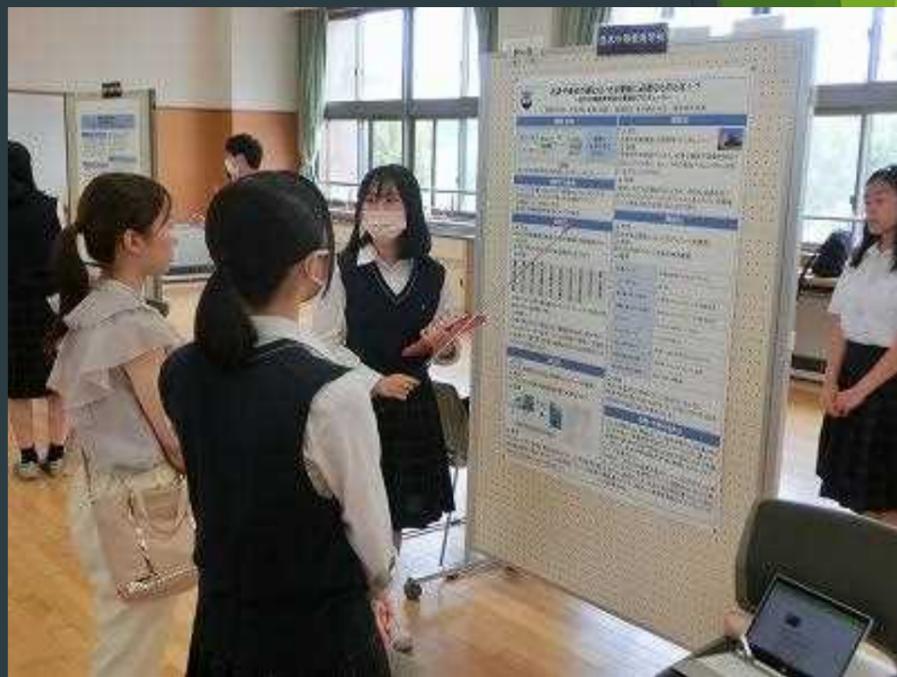
物質材料研究所

農研機構など・・・

立地を生かして SSH3期目

▶ **探究活動**

▶ **アクティブラーニング
先進校**



茨城県

高教研公民部での取り組み

▶ 18歳選挙権の開始を機に

主権者教育研究会

弁護士・教員による取り組み

授業や学年集会に弁護士を招く

▶ 犯罪とは何か（前任校で）

メーリングリストによる情報交換

▶ 弁護士9名 教員20名

▶ 最近の話題は

シティズンシップ教育

模擬裁判への興味

- ▶ 法学部生活の中での
裁判傍聴
- ▶ 高校生模擬裁判選手権
2022より挑戦

弁護士・検察官による指導



模擬裁判選手権への準備

- ▶ 毎週1回、昼休みに集まる
2021冬～
- ▶ 「昔話法廷」 (NHK for school)
で考える

論点を出し合うことはできても

- ▶ 本当にこれでよいのか
結論の出し方がわからない

弁護士会HPの教材を使用

- ▶ 解説があるので助かる!
- ▶ 結論は出さなくて良い!
- ▶ 双方の視点で考えられることが大切!

法務省作成の教材も多数

授業でもやってみよう!

- ▶ 高3 政治経済に導入
- ▶ 単元: 司法
- ▶ 刑事事件
- ▶ 論告、弁論を
自分たちで作る過程が大切

公共（高1）での導入

- ▶ 単元: 法の働きと私たち
- ▶ 国民の司法参加
- ▶ 刑事事件

法務省・東京地裁見学



生徒の変容

疑わしきは被告人の利益に
ならば、どうやって有罪を
主張できるのか？

間接証拠の積み重ね！

2022年度 2クラス
2023年度 2クラス

- ▶ 2022年度は各クラス1回
- ▶ 2023年度は2回ずつ
- ▶ 刑事事件

2022年度

- ▶ 裁判に関する考え方も説明
- ▶ ケースを**ビデオ視聴**で把握
- ▶ 検察官、弁護士に分かれて考える
- ▶ 班に分かれて論告・弁論を行う
- ▶ 代表者が発表
- ▶ 講評
- ▶ 判決はgoogle formで多数決

班で自分の作った論告／弁論を述べ合う

※会場において映像が流れます。

代表者による論告・弁論

※会場において映像が流れます。

2023年度



- ▶ ~~裁判に関する考え方~~
- ▶ ケースをシナリオ朗読で把握
- ▶ 検察官、弁護士に分かれて考える
- ▶ 話し合いののち、弁護士役と検察官役の双方が発表
- ▶ 裁判官役の生徒による判決
- ▶ 検察官（実務家）による講評

シナリオ朗読の様子



※会場において映像が流れます。

教員・検察官からの説明と助言

※会場において映像が流れます。



弁護側の話し合いの様子

※会場において映像が流れます。



検察側の話し合いの様子



※会場において映像が流れます。

論告



※会場において映像が流れます。

弁論



※会場において映像が流れます。

裁判員の意見を聞く裁判官



※会場において映像が流れます。

判決が決まる



※会場において映像が流れます。

反省点

司法の単元が未習だったため考え方の理解が薄かった

▶ ~~裁判に関する考え方~~

ビデオ視聴で把握させる方が、考える時間を増やせる

▶ ケースをシナリオ朗読で把握

▶ 検察官、弁護士に分かれて考える

▶ 話し合いののち、弁護士役と

検察官役双方が発表

▶ 裁判官役の生徒による判決

裁判官が一人だった…負担が大きかった

▶ 検察官（実務家）による講評

検察官の講評



※会場において映像が流れます。

生徒の感想



- ▶ もし裁判員に選ばれた場合、被告人の人生を左右する大切な判断をしなければならないので、今回の授業で裁判の流れなどを学ぶことができてよかったと思う。

- ▶ 映像を通じて、実際の裁判の雰囲気がよく掴めた。
- ▶ また、無罪推定の原則や証拠裁判主義といった原則を実際に適用することの難しさを感じた。



- ▶ 一つの事柄でも、見る角度によって全く異なるとらえ方ができて、確かにそういう考え方もできるな、という新しい発見があって面白かった。
- ▶ 裁判では最終的に被告人が有罪か無罪か決めなければならないけれど、それはとても難しいことだと思った。

- ▶ 裁判と実際に職業という形で関わっている方と模擬裁判をすることができてとてもうれしかった。
- ▶ 検察官のセリフを検察官が実際に言っているところを見ることができてうれしい。



模擬裁判で養われる力

- ▶ 証拠に基づいて**客観的に**
多面的・多角的に 考察する力
- ▶ 自己の意見を根拠をもって
伝える力
- ▶ 18歳・・・成人として
責任をもって議論を積み重ねる力



実務家と協力するメリット

- ▶ **分からない場合に質問でき、
自信を持って授業に臨める**
- ▶ **説得力が増す**
- ▶ **職業観の育成**



教材のある場所






法務省
MINISTRY OF JUSTICE



会見・報道・お知らせ



法務省の概要

[トップページ](#) > [政策・審議会等](#) > [司法制度改革の推進](#) > [法教育](#) > 「もぎさい」法教育教材

法務省 もぎさい で検索

高校生向け教材



高校生向け

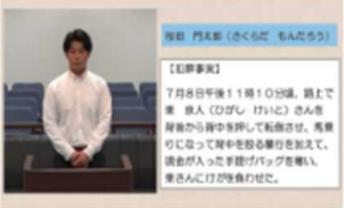
<p>[視聴覚教材]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事件の審理等 (1)~(3) 約34分 字幕なし映像 字幕あり映像 ・専門家からのメッセージ (4) 約18分 字幕なし映像 字幕あり映像 <p>※視聴覚教材のリンク先は法務省YouTubeチャンネルです。</p>	<p>[補助資料等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員用説明資料 ・学習指導案 ・ワークシート ・シナリオ教材 ・証拠書類 ・スライド資料用データ
---	--

<事件の内容>
道路上を歩いていた被害者に暴行を加え、手提げバッグを奪い取って、被害者に傷害を負わせた強盗致傷の事案

※視聴覚教材(事件の審理等)のイメージです。



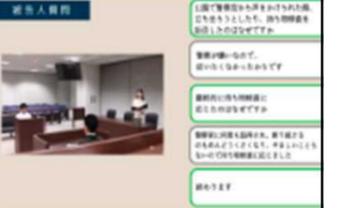
刑事手続の流れ



【証言】
7月8日午後11時10分頃、路上で妻 敦子(40歳、けいこ)さんを肩車から降ろす押して転倒させ、罵詈雑言になって降ろす暴行を加えて、両手が入った手提げバッグを奪い、妻さんにけがを負わせた。



【捜査】
捜査報告書



【教育】
教育現場

1.5倍速くらいで視聴すると話し合う時間を多くとれます。

被告人質問



公園で警察官から声をかけられた際、立ち去ろうとしたり、持ち物検査を拒否したのはなぜですか

警察が嫌いなので、従いたくなかったからです

最終的に持ち物検査に応じたのはなぜですか

警察官に何度も説得され、断り続けるのもめんどうくさくなり、やましいこともないので持ち物検査に応じました

終わります

**様々な実践が
積み重なることを期待します。**

**ご静聴
ありがとうございました。**

